

## 試験研究業績（外部への発表） 平成17年度

## 海洋環境部門

有毒渦鞭毛藻*Alexandrium tamerense*個体群のマイクロサテライトマーカーによる多型解析：長井 敏，鈴木雅巳，浜口昌巳，松山幸彦，板倉 茂（瀬戸内海水研），練 春蘭（東大アジア生物研），嶋田 宏（中央水試），加賀新之助（岩手水技セ），山内洋幸（宮城水産セ）「DNA多型」，13，東洋書店，2005

北海道水試のデータ発掘：田中伊織（中央水試）水産海洋研究 69 (3)，235-236，2005.8

噴火湾における低次生産過程と貝毒プランクトンの中長期変動：工藤 勲（北大院水），宮園 章（函館水試），嶋田 宏（中央水試），磯田 豊（北大院水）沿岸海洋研究 43 (1)，33-38，2005.8

Fluctuations of Zooplankton Community during Early Ocean Life of Chum Salmon in the Coastal Waters of Eastern Hokkaido, Okhotsk Sea: 浅見大樹（稚内水試），佐藤 一（網走水試），嶋田 宏，澤田真由美（中央水試），宮腰靖之，安藤大成，永田光博（水産孵化場）NPAFC (North Pacific Anadromous Fish Commission) Technical Report No.6, 54-56, 2005.9

Horizontal distribution of toxic *Alexandrium* spp. (Dinophyceae) resting cysts around Hokkaido, Japan: 嶋田 宏（中央水試），宮園 章（函館水試）Plankton Biol.Ecol. 52 (2)，76-84，2005

北海道東オホーツク海沿岸域におけるシロサケ稚魚沿岸滞泳期の動物プランクトンの変動：浅見大樹（稚内水試），嶋田 宏，澤田真由美（中央水試），佐藤 一（網走水試），宮腰靖之，安藤大成，藤原 真，永田光博（水産孵化場）パイセス年次総会講演要旨，2005.11

噴火湾におけるニューラルネットワークを利用した麻痺生貝毒予測手法について：宮園 章（函館水試）他4名 平成17年度水産海洋学会研究発表大会要旨集，201，2005.12

北海道渡島半島西岸を南下して津軽海峡に流入する流れ（2）：田中伊織，中多章文，澤田真由美（中央水試）日本海沿岸域における海況モニタリングと波浪計測に関する研究集会報告，1-21，九州大学応用力学研究所，2006.1

宗谷暖流を横切って沖合の有毒プランクトンを沿岸域に輸送する一つのメカニズムのアイデア：田中伊織，大槻知寛（中央水試）衛星観測システムの海洋生態系研究及び水産業の利用のための基盤技術に関する共同研究 平成17年度共同研究発表会成果報告書，25-32，水産総合研究センター・宇宙航空研究開発機構，2006.3

漂流プイによる冬季北海道日本海沿岸域の流動観測：中多章文，田中伊織，澤田真由美（中央水試）2006年度日本海洋学会春季大会要旨，209，2006.3

松前西方の流れ：田中伊織，澤田真由美，中多章文（中央水試）東京大学海洋研究所国際沿岸海洋研究センター研報 30，42-43，2005

## 資源管理部門

エビジャコとマコガレイ稚魚に対する小型ソリネットの採集効率：城 幹昌（網走水試）他 日本水産学会誌 71 (2)，172-177，2005.4

北海道噴火湾におけるケガニの甲長に基づく資源評価と資源管理：三原栄次，山口宏史（稚内水試），上田祐司，松

石 隆 日本水産学会誌 71 (6), 935-941, 2005.11

資源評価担当者から見た漁業資源の管理-II スケトウダラ資源評価の現状と今後の課題：志田 修（函館水試室蘭支場） 日本水産学会誌 71 (6), 1022-1026, 2005.11

ソウハチに対する刺網の網目選択性：若山賢一，藤森康澄（北大院水），板谷和彦，村上 修（中央水試），三浦汀介（北大院水） 日本水産学会誌 72 (2), 174-181, 2006.3

地域性ニシンの卓越発生メカニズム解明に迫る 1. 2001年級の特徴を探る (1) 成長・成熟・分布域などの特徴とその変化：高柳志朗，田中伸幸（稚内水試），三宅博哉（中央水試） 水産海洋研究 69 (2), 107-109, 2005.5

地域性ニシンの卓越発生メカニズム解明に迫る 3. 豊度決定要因としての生活環境-石狩川河口域周辺の海洋構造と餌生物の時空間的分布-：佐々木正義，石田良太郎（釧路水試），高島信一（栽培センター），高柳志朗（稚内水試） 水産海洋研究 69 (2), 115-118, 2005.5

地域性ニシンの卓越発生メカニズム解明に迫る 4. 耳石から稚魚期の成長・生活履歴を探る-石狩湾ニシン稚魚の孵化日・成長と年級群豊度から：石田良太郎，佐々木正義（釧路水試），高島信一（栽培センター），干川 裕（中央水試），浅見大樹，高柳志朗（稚内水試） 水産海洋研究 69 (2), 118-119, 2005.5

2001年の北海道北部海域におけるスルメイカの日齢と群構造：坂口健司（釧路水試）外 水産海洋研究 70 (1), 16-22, 2006.2

Otolith microstructure and daily increment validation of marbled sole (*Pseudopleuronectes yokohamae*): Joh, M（網走水試）他 Marine Biology 147, 59-69, 2005.5

トドを巡る現状と生態調査について：和田昭彦（稚内水試），桜井泰憲，磯野岳臣 ワイルドライフ・フォーラム 10(2), 39-45, 2005.6

Seasonal variations of plankton food web structure in the coastal water off Usujiri southwestern Hokkaido, Japan : Akiyoshi Shinada（網走水試） Journal of Oceanography, 61 (4), 645-654, 2005.8

サクラマスの生活史ステージの進展に伴う安定同位体比の変化：下田和孝（稚内水試），中島美由紀，伊藤富子，河内香織，柳井清治，伊藤絹子 日本生態学会誌 55 (2), 371-376, 2005.8

北海道日本海のスケトウダラ資源の変動：三宅博哉，田中伊織（中央水試） 月刊海洋 38 (3), 187-191, 2006.2

そりネットによるソウハチ稚魚の分布密度推定：板谷和彦（中央水試），藤森康澄（北大院水） 平成17年度日本水産学会講演要旨集, 2005.04

スケトウダラ稚魚に対する音響資源調査の試み：板谷和彦，三宅博哉（中央水試），田中伸幸（網走水試），宮下和士（北大SFC） 平成17年度日本水産学会講演要旨集, 2005.04

2001に北海道東部海域へ来遊したスルメイカの発生時期について：坂口健司（釧路水試）外 平成17年度日本水産学会講演要旨集 186, 2005.4

宗谷海域におけるミズダコの成育段階：佐野 稔，板東忠男，三原行雄（稚内水試） 平成17年度日本水産学会講演

要旨集, 2005.4

Annual fluctuations in recruitment of walleye pollock in Oyashio region related to environmental changes : 志田 修 (函館水試室蘭支場) 第1回ESSAS (Climate Variability and Sub-Arctic Marine Ecosystems) 国際シンポジウム要旨集, 68, 2005.5

Steller's sea lion in Hokkaido Island: current status and research activities. : Yamamura.O., K.Hattori, T.Isono, Y.Goto, A.Wada (稚内水試) and Y.Sakurai. Abstracts of the plenary, symposium, poster and oral papers presented at Ninth International Mammalogical Congress (IMC 9) ., p.137-138. roles of mammalogy on coexistence of wild mammals and human. July 31-August 5, 2005. Sapporo, Hokkaido, Japan (ポスター発表), 2005.8

北海道日本海のスケトウダラ資源の変動 : 三宅博哉 (中央水試) 平成17年度日本水産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集, 13-14, 2005.11

根室海峡に来遊するトドの食性とその年変化 : 後藤陽子, 鳥澤 雅 (釧路水試) 外 平成17年度日本水産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集, 53, 2005.11

2001-2002年に北海道東部海域へ来遊したスルメイカの発生時期について : 佐藤 充 (中央水試), 坂口健司 (釧路水試) 2005年度水産海洋学会研究発表大会講演要旨集, 55, 2005.12

稚魚の計量魚探調査-スケトウダラ仔稚魚に対する計量魚探を用いた資源調査 : 板谷和彦, 三宅博哉 (中央水試), 田中伸幸 (網走水試), 貞安一廣, 宮下和士 (北大SFC) 平成17年度水産工学関係シンポジウム講演要旨集, 2006.01

石狩湾系ニシン仔魚期の成長速度と年級群豊度の関係 : 石田良太郎, 佐々木正義 (釧路水試) 外 平成18年度日本水産学会大会講演要旨集, 19, 2006.3

石狩湾系ニシンの資源管理手法の検討 : 石田良太郎 (釧路水試) 外 平成18年度日本水産学会大会講演要旨, 19, 2006.3

道東周辺海域におけるケガニの分布特性と海洋構造の関係について : 安永倫明 (釧路水試) 平成18年度日本水産学会講演要旨集, 23, 2006.3

水産資源の持続的利用 知床半島周辺海域の漁業と水産資源 (陸棚) : 石田良太郎, 鳥澤 雅 (釧路水試) 外 水産海洋地域研究集会 第37回北洋研究シンポジウム 知床世界遺産 水縁生態系の保護管理と持続的漁業 講演要旨集 7, 2006.3

水産資源の持続的利用 知床半島周辺海域の漁業と水産資源 (沿岸) : 西内修一 (網走水試) 水産海洋地域研究集会 第37回北洋研究シンポジウム 知床世界遺産 水縁生態系の保護管理と持続的漁業 講演要旨集 8, 2006.3

ケガニってどんなカニ?-知っているようで知らないケガニのはなし- : 安永倫明 (釧路水試) おさかなセミナーくしろ2005北の海に生きるカニたち 3-6, 2005.8

採捕試料を用いた食性解析 : 後藤陽子 (釧路水試) 平成16年度水産庁委託事業 国際資源調査等推進対策事業 トド資源調査 事業報告書, 54-61, 2005.9

2002年の北海道南部に分布したスルメイカの発生時期 (要旨) : 坂口健司 (釧路水試) 外 平成16年度イカ類資源研

究会議報告, 41-42, 2005.12

### 資源増殖部門

3.コンブ・ワカメ：名畑進一（中央水試）“貝類・甲殻類・ウニ類・藻類” 森勝義編 恒星社厚生閣, 35-55, 2005

16.マツカワ：森 立成（中央水試）水産増養殖 システム1 海産魚 熊井英水編 恒星社厚生閣, 285-289, 2005.10

地域性ニシンの卓越発生メカニズム解明に迫る 1. 2001年級の特徴を探る(2)産卵場と産卵数：干川 裕, 高橋和寛, 津田藤典（中央水試）, 赤池章一（稚内水試）, 瀧谷明朗（中央水試） 水産海洋研究 69 (2), 110-111, 2005.5

地域性ニシンの卓越発生メカニズム解明に迫る 2. 豊度はいつ決定されるのか？(1)放流種苗ニシンの動態：石野健吾（中央水試）, 高島信一（栽培センター） 水産海洋研究 69 (2), 112, 2005.5

地域性ニシンの卓越発生メカニズム解明に迫る 2. 豊度はいつ決定されるのか？(2)石狩川河口周辺域におけるニシン稚魚の分布と量的動向：高島信一（栽培センター）, 石野健吾（中央水試）, 佐々木正義（釧路水試） 水産海洋研究 69 (2), 113-114, 2005.5

地域性ニシンの卓越発生メカニズム解明に迫る 風蓮湖ニシンの資源変動とその要因：堀井貴司（釧路水試） 水産海洋研究 69 (2), 122-123, 2005.5

北海道日本海寿都海域で標識放流されたクロソイ人工種苗の再捕結果：佐々木正義（釧路水試）, 西内修一（網走水試）, 外（他機関所属と共同） 栽培技研 33 (1), 21-26, 2005.8

釧路湿原達古武沼の水生大型無脊椎動物相：栗原康裕（網走水試）他 陸水学雑誌 66 (2), 117-128, 2005.8

Distribution and migration of pink salmon juveniles in the coastal waters of eastern Hokkaido, Okhotsk Sea. : Ando, D., Y.Miyakoshi, M.Nagata, M.Fujiwara, N.Hoshino and H.Asami ( 稚 内 水 試 ) . NPAFC (North Pacific Anadromous Fish Commission) Technical Report No.6, 71-73, 2005.9

Relation between the distribution of juvenile chum salmon in the coastal waters of eastern Hokkaido and water temperature as determined by experimental releases of otolith-marked juveniles. : Nagata, M., Y.Miyakoshi, D.Ando and H. Asami (稚内水試) . NPAFC (North Pacific Anadromous Fish Commission) Technical Report No.6, 74-77, 2005.9

Development of microsatellite markers for Japanese scallop (*Mizuhopecten yessoensis*) and their application to a population genetic study : Sato,M., Kawamata,K. ( 稚 内 水 試 ) , Zaslavskaya,N., Nakamura,A., Ohta,T., Nishikiori,T., Brykov,V. and Nagshima,K Marine Biotechnology 7, 713-728, 2005.10

Estimation of age composition from length data by posterior probabilities based on a previous growth curve: application to *Sebastes schlegelii* : K.Baba (函館水試) , M.Sasaki (釧路水試) et al . Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Sciences. 62, 2475-2483, 2005.11

ヒラメ雌×マツカワ雄雑種における三倍体作出とそのDNA量フローサイトメトリーおよび多型DNAマーカーによる確認：齊藤節雄（栽培センター）他3名 水産育種 35 (1), 25-33, 2006.1

Genetic variation of hair crab (*Erimacrus isenbeckii*) inferred from mitochondrial DNA sequence analysis (ミトコンドリアDNA塩基配列解読によるケガニの遺伝的変異解析) : N.Azuma, Y.Kunihiro, J.Sasaki, Y.Nozawa, **E.Mihara, Y.Mihara, T.Yasunaga (稚内水試)** and S.Abe, Fish Genetics and Breeding Science (水産育種) 35 (1), 35-42, 2006.2

市販イカ内蔵ミールのクロソイ稚魚用飼料としての有効性 : **佐藤敦一 (栽培センター)** 他2名 日本水産学会誌 72 (3), 401-407, 2006.3

Aquaculture performance of triploid barfin flounder *Verasper moseri*: **齊藤節雄 (栽培センター)** 他3名 Fish. Sci. 72 (2), 270-277, 2006.3

Relationships between release season and feeding performance of hatchery-reared Japanese flounder *Paralichthys olivaceus* : In situ release experiment in coastal area of Wakasa Bay, Sea of Japan : **Y.Tanaka, H.Yamaguchi (稚内水試)**, O.Tominaga, T.Tusaki and M.Tanaka. Journal of Experimental Marine Biology and Ecology 330 (2), 511-520, 2006.3

北海道日本海沿岸における水温変動とウニ類稚仔の発生状況 : **干川 裕 (中央水試)** 月刊海洋 38 (3), 205-209, 2006.3

大型人工種苗を用いたエゾアワビ親貝集団の形成と当歳貝密度の変化 : **干川 裕, 高橋和寛, 津田藤典 (中央水試)** 平成17年度日本水産学会大会講演要旨集, 215, 2005.4

北海道, 噴火湾におけるホタテガイ養殖許容量推定モデルによる養殖生産構造の検討 : **宮園 章 (函館水試)** 他1名 平成17年度日本水産学会大会講演要旨集, 238, 2005.4

ニューラルネットによる噴火湾ホタテガイ採苗豊凶の環境からの予測 : **馬場勝寿 (函館水試)** 他1名 平成17年度日本水産学会大会講演要旨集, 238, 2005.4

北海道におけるホタテガイの環境収容力とは? -適正養殖法の開発と問題点について-オホーツク海沿岸 : **品田晃良 (網走水試)** 2005年日本プランクトン・日本ベントス学会合同大会講演要旨集, 7, 2005.9

北海道におけるホタテガイの環境収容力とは? -適正養殖法の開発と問題点について-噴火湾 : **宮園 章 (函館水試)** 2005年度日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会講演要旨集, 8, 2005.9

希少種マツカワにおける染色体操作育種と性統御 : **森 立成 (中央水試), 齋藤節雄 (栽培センター)**, 岸岡稚青, 荒井克俊 (北大水) 第6回水産育種研究会講演要旨集, 15, 2005.9

Did release size, growth rate, and morphological abnormalities have influences on survival of Japanese flounder juveniles released in Yoichi Bay, Hokkaido, in August 2004? : **石野健吾 (中央水試), 高島信一 (栽培センター)** 第6回異体類国際シンポジウム要旨集, 4-P-21, 2005.10

Sex ratio and growth performance of gynogenetic diploid barfin flounder: **森 立成 (中央水試), 齋藤節雄 (栽培センター)**, 岸岡稚青, 荒井克俊 (北大水) 第6回異体類国際シンポジウム要旨集, 5-P-04, 2005.10

北海道日本海沿岸における水温変動とウニ類稚仔の発生状況 : **干川 裕 (中央水試)** 平成17年度日本水産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集, 17, 2005.11

体成分からみた石狩湾系ニシンの栄養状態 : **福士暁彦, 佐藤暁之, 阪本正博, 高柳志朗 (稚内水試)** 平成17年度日

本水産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集, 31, 2005.11

ミトコンドリアDNA塩基配列に基づくカニ類の分子集団遺伝的アプローチ：東典子，國廣靖志（函館水試），佐々木潤（函館水試室蘭支場），野澤靖，三原栄次，三原行雄，安永倫明（稚内水試），阿部周一 平成17年度日本水産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集, 40, 2005.11

A shift of pink salmon dominance in Hokkaido from even- to odd- numbered years in relation to coastal environments during the early life : Mitsuhiro,N., Y.Miyakoshi, D.Ando and H.Asami（稚内水試） 2005 NPAFC-PICES Joint Symposium “The Status of Pacific Salmon and their Role in North Pacific Marine Ecosystems”, Abstract 25p, 2005.11

Results from otolith-marking experiments designed to improve stocking strategies based on the spatial distribution of juvenile chum salmon in relation to coastal seawater temperature. : Mitsuhiro,N., Y.Miyakoshi, D.Ando and H.Asami（稚内水試） . 2005 NPAFC-PICES Joint Symposium “The Status of Pacific Salmon and their Role in North Pacific Marine Ecosystems”, Abstract 30p, 2005.11

衛星リモートセンシングを用いた水温観測によるサケ稚魚放流時期の評価：宮腰靖之，齊藤誠一，松岡敦，高田雅之，浅見大樹（稚内水試），藤原真，永田光博 平成17年度水産海洋学会講演要旨集, 110, 2005.12

Improved culture technique for edible sea urchins, *Stomgylocentrotus intermedius* larvae : Yuichi Sakai and Yasuko Konda (栽培センター) Abstracts, 2006 Annual meeting of National Shellfish Association, 2006

石狩湾系ニシンの産卵時期の年変動について：干川裕，高橋和寛，津田藤典（中央水試） 平成18年度日本水産学会大会講演要旨集, 18, 2006.3

ミトコンドリアDNA塩基配列に基づくカニ類の分子集団遺伝学的アプローチ：東典子，國廣靖志（函館水試），佐々木潤（函館水試室蘭支場），三原栄次，三原行雄，安永倫明（稚内水試），阿部周一 平成18年度日本水産学会大会講演要旨集, 123, 2006.3

Genetic relationship between two *Ammodytes* species and their population structure（イカナゴにおける集団遺伝構造）：T.Yanagimoto, T.Gao, Z.Han, Y.Chen, N.Tanaka, K. Shimoda（稚内水試），M.Tomiyama, Y.Sakurai, 平成18年度日本水産学会大会講演要旨集, 249, 2006.3

マツカワ*Verasper moseri*雌性発生二倍体を用いたマイクロサテライト-動原体地図：齊藤節雄（栽培センター）他5名 平成18年度日本水産学会大会講演要旨集, 733, 2006.3

マツカワ人工種苗の安定供給に向けて-種苗量産技術の実証と応用-：萱場隆昭（栽培センター） 平成17年度育てる漁業研究会講演要旨, 2006

アマモ類主要種の分布実態調査：赤池章一，合田浩朗（稚内水試） 水産庁委託 生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発調査事業 アマモ類の遺伝的多様性の解析調査 平成17年度報告書, 23-24, 2005.10

沿岸域の藻場における基礎生産の定量評価の試み：赤池章一，合田浩朗，瀧谷明朗（稚内水試） リモートセンシング及びGISを活用した資源・環境評価と産業応用に関する研究報告書, 51-69, 2006.3

北海道の沿岸藻場の現状と今後：赤池章一（稚内水試） リモートセンシング及びGISを活用した資源・環境評価と産業応用に関する研究報告書, 214-215, 2006.3

エゾアワビ当歳稚貝量に及ぼす親貝密度の影響：干川 裕，高橋和寛，津田藤典（中央水試），町口裕二（水産庁）  
水産総合研究センター研究報告別冊 5，119-126，2006.3

クロソイ人工種苗の津軽海況及び渡島東部太平洋海域における放流効果について：馬場勝寿（函館水試） 育てる漁業.  
No394. 2006.3

## 加工利用部門

干しほたて貝柱：今村琢磨（網走水試紋別支場） 全国水産加工品総覧（光琳），93-96，2005.6

地域性ニシンの卓越発生メカニズム解明に迫る 2. 豊度はいつ決定されるのか？（3）稚魚の成長に伴う体成分変化について：福士暁彦（中央水試） 水産海洋研究 69（2），114-115，2005.5

電解海水を用いた蓄養によるウニ内臓からの*Vibrio parahaemolyticus* 除菌効果について：木村 稔，三上加奈子，  
干川 裕，森 立成（中央水試），笠井久会，吉水 守（北大院水） 日本水産学会誌 72（1），1-6，2006.1

アルギン酸オリゴ糖修飾による産卵回帰シロサケ筋肉の水溶化と貯蔵性：武田浩郁（釧路水試） 外 平成17年度日本  
水産学会大会講演要旨集，160，2005.4

市民公開講座-水産物の腸炎ビブリオ対策-：木村 稔（中央水試） 第4回日本機能水学会学術大会講演要旨集，72，  
2005.10

体成分からみた石狩湾系ニシンの栄養状態：福士暁彦，佐藤暁之（中央水試） 平成17年度日本水産学会東北・北海  
道合同支部大会講演要旨集，31，2005.11

未利用藻類に含まれる脂溶性有効成分の濃縮技術について：佐藤暁之，福士暁彦（中央水試） 平成17年度日本水  
産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集，64，2005.11

ミンククジラ赤身肉の成分および肉質について：武田浩郁，金子博実，辻 浩司，野俣 洋（釧路水試） 平成17年  
度日本水産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集，71，2005.11

シャーベット海水氷を用いたスケトウダラの冷却について：成田正直，西 紘平，坂本正博（中央水試），田上久夫，  
内藤政治（小樽機船組合） 平成17年度日本水産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集，72，2005.11

ミンククジラ赤身肉の成分および肉質について：武田浩郁，金子博実，辻 浩司，野俣 洋（釧路水試） 水産利用  
関係試験研究推進会議利用加工技術部会研究会，24-25，2005.12

沖合底びき網漁獲物の鮮度保持について：成田正直，西 紘平，坂本正博（中央水試），田上久夫（小樽機船組合），  
原口聖二（北水開発協会） 水産利用関係試験研究推進会議利用加工技術部会，50，2005.12

シャーベット海水氷を用いたソウハチガレイの鮮度保持について：成田正直，西 紘平，坂本正博（中央水試），田  
上久夫（小樽機船組合） 日本食品工学会北海道支部大会講演要旨集，23，2006.2

サケ・マス山漬け製造工程中の成分変化について：蛭谷幸司，武田忠明，小玉裕幸，武田忠明，秋野雅樹，今村琢磨  
（網走水試紋別支場） 平成18年度日本水産学会大会講演要旨集，226，2006.3

ホタテガイ生鮮貝柱の品質保持技術について：武田忠明，秋野雅樹，今村琢磨（網走水試紋別支場）他 平成18年度日本水産学会大会講演要旨集，230，2006.3

魚類由来コンドロイチン硫酸の機能と利用：今村琢磨，武田忠明（網走水試紋別支場） 農林水産技術研究ジャーナル 28 (6)，18-23，2005.6

ホタテガイ卵巣から得られる紫外線吸収アミノ酸：蛭谷幸司（網走水試紋別支場）他 農林水産技術研究ジャーナル 28 (6)，33-37，2005.6

活魚・鮮魚用トレーサビリティシステム技術の開発：山中英明（上海水産大学），木村 稔（中央水試） 海洋水産エンジニアリング 12，52-60，2005.12

フコキサンチン・フコステロールの効率的抽出・濃縮技術の開発：佐藤暁之，福士暁彦（中央水試），山内和夫，袴田佳美（海洋水産システム協会） 水産バイオマスの資源化技術開発事業報告書，18-25，2006.2

## 水産工学部門

北海道における冬季のアサリの生残に及ぼす地温低下の影響：中山威尉，福田裕毅（中央水試） 寒地技術論文・報告集 21，368-373，2005.12

間隙水中の溶存硫化物がアサリに与える影響について：福田裕毅，中山威尉（中央水試） 平成17年度日本水産学会大会講演要旨集，224，2005.4

北海道日本海沿岸のガラモ場に生息する葉上動物群集の季節変化：櫻井 泉（中央水試） 平成17年度日本水産学会大会講演要旨集，225，2005.4

基質表面粗度とウガノモク幼胚の付着量：金田友紀（中央水試） 平成17年度日本水産学会大会講演要旨集，229，2005.4

海底地形の変動に対するアサリ稚貝の行動と減耗：櫻井 泉（中央水試） 平成17年度水産工学関係試験研究推進特別部会水産基盤整備分科会報告書，17-20，2005.10

間隙水の溶存硫化物がアサリに与える影響について：福田裕毅，中山威尉（中央水試） 第10回北日本ベントス談話会講演要旨集，8，2005.12

潮流の向きが養殖ホタテガイの成長に及ぼす影響：櫻井 泉（中央水試） アクアネット 2005.11，24-27，2005.11

森林が河口域の水産資源に及ぼす影響：櫻井 泉（中央水試） 平成17年度北海道水産土木技術研修会資料，13-23，2006.1

アサリの成長に及ぼす生息密度の影響：中山威尉，福田裕毅（中央水試），秦 安史，阿部英治（釧路水試） 平成18年度日本水産学会大会講演要旨集，101，2006.3